

2.2. 入院患者の転倒・転落発生率

算式

$$\frac{\text{【分子】 入院中患者に発生した転倒・転落件数}}{\text{【分母】 入院患者延数}} \times 1000$$

(労災病院グループにおけるインシデント・アクシデントレベル3 a以上の事例に限る。)

定義

入院患者の転倒・転落発生割合

指標の解説

施設調査より抽出

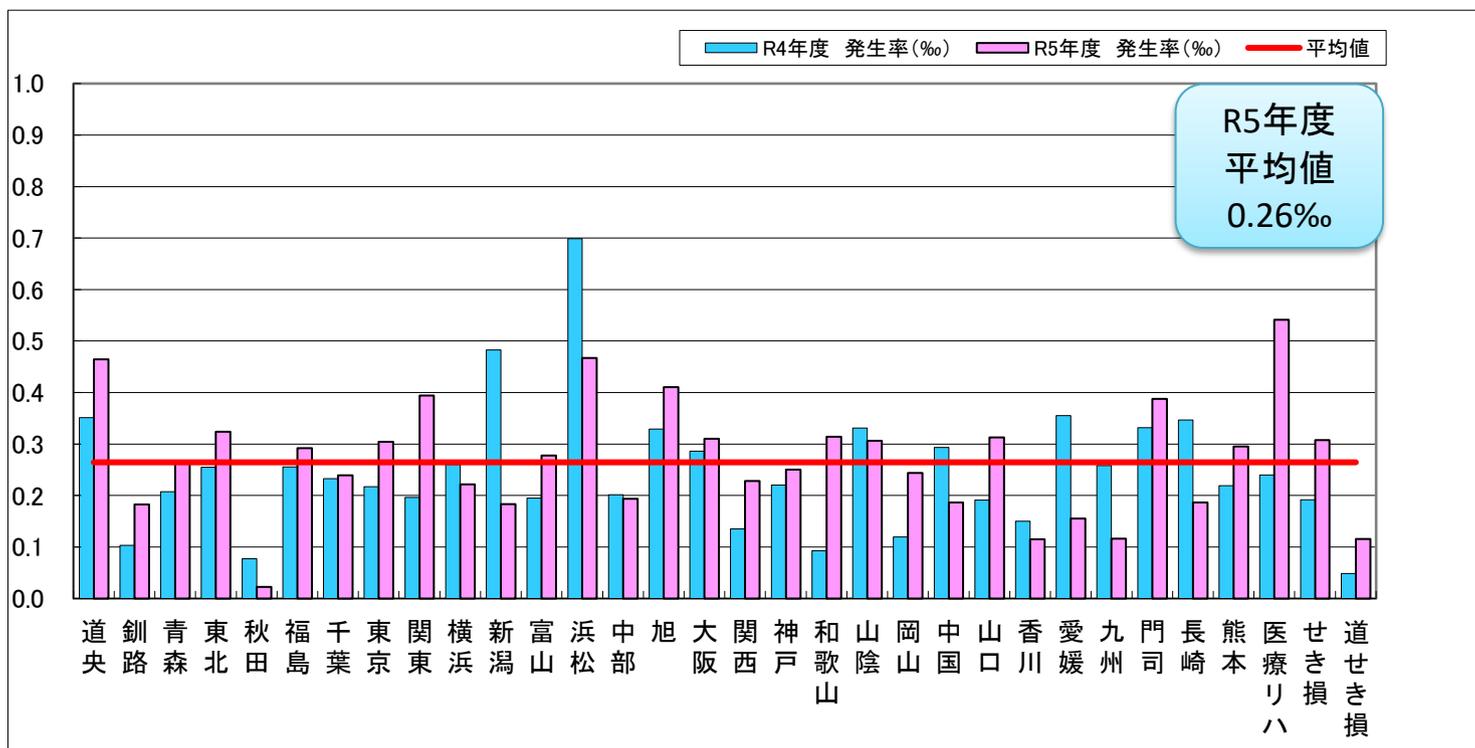
安全で質の高い医療の提供に関して、医療安全対策への取組みについて入院患者の転倒・転落の発生状況から評価する。

インシデント・アクシデント事例の中で転倒・転落件数が最も多く、各病院では医療安全対策の取組みとして転倒・転落のリスクをアセスメントして予防策を立案・実行している。

転倒・転落発生率が低い場合には、転倒・転落予防に積極的に取り組み、またその効果が表れていると評価できる。

※ ‰ = 1000分の1

2.2. 入院患者の転倒・転落発生率



No	施設名	R4年度			R5年度		
		分母	分子	発生率(‰)	分母	分子	発生率(‰)
1	道 央	45,566	16	0.35	38,780	18	0.46
2	釧 路	116,503	12	0.10	114,859	21	0.18
3	青 森	67,416	14	0.21	67,428	18	0.27
4	東 北	125,478	32	0.26	129,803	42	0.32
5	秋 田	38,963	3	0.08	43,832	1	0.02
6	福 島	90,013	23	0.26	89,096	26	0.29
7	千 葉	111,687	26	0.23	116,942	28	0.24
8	東 京	92,139	20	0.22	95,274	29	0.30
9	関 東	152,921	30	0.20	177,724	70	0.39
10	横 浜	176,816	46	0.26	189,666	42	0.22
11	新 潟	28,989	14	0.48	27,310	5	0.18
12	富 山	56,344	11	0.20	64,888	18	0.28
13	浜 松	82,968	58	0.70	85,628	40	0.47
14	中 部	134,073	27	0.20	123,811	24	0.19
15	旭	66,807	22	0.33	75,466	31	0.41
16	大 阪	192,133	55	0.29	190,272	59	0.31
17	関 西	184,967	25	0.14	192,984	44	0.23
18	神 戸	81,684	18	0.22	75,870	19	0.25
19	和 歌 山	97,146	9	0.09	95,439	30	0.31
20	山 陰	99,669	33	0.33	104,435	32	0.31
21	岡 山	83,725	10	0.12	94,215	23	0.24
22	中 国	102,368	30	0.29	112,415	21	0.19
23	山 口	83,794	16	0.19	89,574	28	0.31
24	香 川	106,694	16	0.15	112,915	13	0.12
25	愛 媛	45,033	16	0.36	45,132	7	0.16
26	九 州	124,061	32	0.26	128,961	15	0.12
27	門 司	45,190	15	0.33	51,630	20	0.39
28	長 崎	80,781	28	0.35	91,160	17	0.19
29	熊 本	123,195	27	0.22	122,038	36	0.29
30	医 療 リ ハ	24,987	6	0.24	25,868	14	0.54
31	せ き 損	46,945	9	0.19	45,487	14	0.31
32	道 せ き 損	41,277	2	0.05	43,368	5	0.12
	合 計	2,950,332	701	0.24	3,062,270	810	0.26
平均	500床以上	161,065	36	0.22	187,662	54	0.29
	400床以上	110,827	23	0.21	117,446	25	0.22
	300床以上	90,163	25	0.27	90,677	27	0.30
	300床未満	46,138	12	0.25	48,108	14	0.29